



留学と私

東京都・東京都立大泉高等学校附属中学校 3年 長谷川 楼奈

私は英語が大好きで中学校に入ったころから「いつか英語圏の国に留学したい」と思うようになりました。留学をすれば英語を上達させられるだろうし、他にも外国で生活すれば自分を大きく成長させることができるだろうと思ったからです。そして中学2年生のとき、両親に言う前に自分で調べてみようと思いインターネットで調べてみました。その結果、出てきた費用に私は^{あぜん}唖然としました。国や留学のスタイルによって異なるものの、1年間留学するのにかかる費用は約300万円から500万円と出ていました。私はそれまで費用については一切考えていなく、自分の考えが足りなかったと反省しました。私の家は決して裕福ではありません。小学校4年生の弟もいます。私は両親に留学したいとは言えませんでした。「留学をする」という夢は自分一人の胸の中にしまっておこうと思いました。

そんな思いを抱えていた中2の冬、学校で「次世代リーダー育成道場」の説明がありました。私は「チャンスだ!」と思いました。それは東京都が次世代のリーダーを育てるために留学を希望する中高生を支援するというものでした。1年間の留学で費用は60万円。決して安い金額ではなく少し躊躇しましたが、このチャンスを逃したらもうチャンスはないかもしれないと思い、両親に相談しました。両親は私が留学したいと言ったことに驚いたようで、私が気にしていた60万円にはあまり目がいていませんでした。そこで私は「お金が60万かかるんだけど大丈夫?」と聞きました。母も父も口を開かなかったので「やっぱりだめだったか。」とっていると突然母が「おじいちゃんに相談しなさい。」と言いました。母に言われるがまま祖父に電話し、事の顛末^{てんまつ}を話すと「もうすぐ保険が満期になって100万円出るからそこから使いなさい。」





と言われました。私は祖父にたくさんお礼を言い電話を切りました。このプログラムには応募をしても選考を通過しなくては参加することはできません。しかし、お金の問題も解決し両親も後押ししてくれたので、私は自信を持って応募することができました。そして今年の6月、私が次世代リーダー育成道場に参加できることが決まりました。夢への第一歩を踏み出せて嬉しかったです。

夏休みに入り、私は秋田にある祖父の家へ行きました。そこで正式に留学に行くことになったと伝え、費用を出してほしいと頼みました。祖父は「海外に行ったら辛いこともあるだろうけれど精一杯頑張^{がんば}ってきなさい。お金のことは心配しなくていいから。」

と言ってくれました。費用が原因で留学をあきらめかけていた私にとって、この言葉の持つ意味は大きく、そして感謝の気持ちで胸がいっぱいになりました。こんなにも私のことを考えてくれる家族がいて本当に幸せだと感じました。

中学3年になって始まった公民の授業で習った貨幣の役割には「価値の尺度」というものがありました。確かに商品を購入するときなどは値段が尺度となるのかもしれませんが、今回のように留学の費用となるとそうではないような気がします。私は来年の8月から1年間アメリカへ留学する予定です。今回の60万円の価値を決めるのは私自身だと思っています。私がどれだけ多くのことを学んで来れるか、どれだけ成長できるかでこのお金の価値が決まると思います。このお金は祖父と祖母が若いときから働いて稼いだお金で掛けていた保険のお金です。大切なお金が無駄にならないよう、そして60万円以上の価値となって私の心の中に貯められるよう一生懸命頑張りたと思います。また、留学をするのには留学費用だけではなく留学の前にも健康診断をしたり、ビザの申請をしたりとお金がかかります。その際払うお金は両親が毎日働いて稼いだお金です。今まで私は親が働くのは当たり前だと思っていましたが、もし働いてくれなかったらもちろん留学なんてできないし、日々の生活すらままなりません。今では毎日働いてくれている両親に感謝しています。

こんな当たり前のことに気付かせてくれた今回の経験。留学に行く前からすでにたくさんのお金を学び、成長できたと思います。





<参考文献>

- All About ビジネス・学習 豊田圭一「交換留学と1年間留学の違い」(スマートフォン版) 2010年2月1日
URL <http://touch.allabout.co.jp/gm/gc/49754/>

